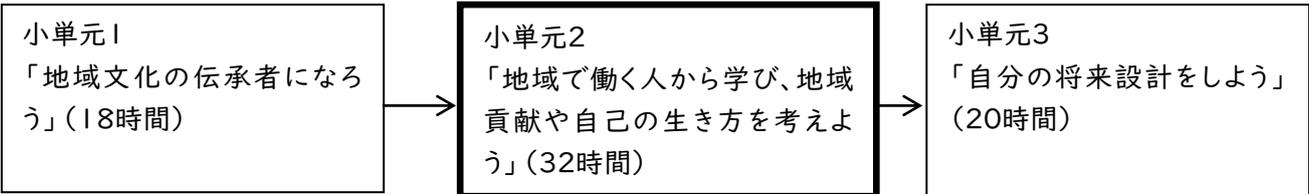


西土佐中学校 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和3年10月20日(水)第6校時
 生徒数 17名
 指導者 栗本 健
 福田 千恵
 山崎 美月

1 単元構想図

単元名 「自分発見 ～地域の思いを継承し、自己の生き方を考えよう～」 全70時間
 小単元2 「地域で働く人から学び、地域貢献や自己の生き方を考えよう」(32時間)



◆学習の流れ

きっかけ

昨年度の総合的な学習の時間の小単元2「職業人に聞こう」で、西土佐の仕事に携わる方々から話を聞き、地域に対する思いを知った。

今年度初めに実施した修学旅行では、西土佐地域と比較した他県の特徴を話し合った。その後、西土佐の良さについて改めて考え、第3学年における総合的な学習の時間のテーマを『西土佐の伝統を知り、未来につなげる』とした。みのり太鼓の演奏者の思いを聞き取り、太鼓演奏を体験した。

その体験と、昨年度の聞き取りを振り返りながら、職場体験学習の機会を生かして、地域で働く人の西土佐に対する思いを聞き取ることにした。

◆枠組みを与えた上で、後は自分たちで考えさせる。

第1次 地域を支える職業について考え、情報収集を行う。(5時間)

- 地域を支える職業について情報を集め、自己の将来との関わりも踏まえて体験先を考える。
- タブレット等を活用して体験先の職業について調べる。
- 地域で働く人たちの思いを知るための質問を考える。

第2次 職場体験を通して、地域で働く人たちの思いを知ろう。(12時間)

- 地域で働く意義について考える。
- 地域で働く人たちの思いを聞き取る。

◆意識の流れ

・全校でのオリエンテーションなんて初めて。今年一年、総合の時間を頑張りたい。

・去年は2年生だけで八面山に登ったけど、堂が森は初めて。藤の川にもこんな歴史があったんだ。動植物にもいろいろあるんだ。ヒノキ仙人って、すごい木だなあ。測量の仕方面白い。

・西土佐にもいろいろいいところがある。
 ・先輩の力強い太鼓演奏にただあこがれていたけど、今城さんはこんな思いで教えてくれているんだ。この思いに応えたい。

・自分が選んだ職場で頑張りたい。西土佐地域に対してどんな思いをもっているんだろう。職場体験で聞くのが楽しみだ。

・西土佐ならではの職業って何だろう。
 ・働く人たちはどんな思いで働いているんだろう。

・地域外から働きに来ている人と、地元の人とでは、違いがあるかな。聞き取りたいな。

・働くことはたいへんだなあ。
 ・楽しかった。もっと仕事がしたい。
 ・こんなことを考えて仕事をしているのか。
 ・いろいろな職場がつながっているな。
 ・働く楽しさはなんだろう。
 ・西土佐を盛り上げようとしているみたい。

第3次 地域を支える職業について、後輩に伝えよう。
(12時間)

- 地域で働く人の思いが後輩に伝わるように、内容や方法について考える。
- 文化祭で、職場体験を通じて知った地域で働く人たちの思いを伝える。
- 発表について振り返り、今後につなげる。

第4次 これから自分たちにできることを考えよう。
(3時間)

- 職場体験学習、文化祭での発表について振り返る。
- 地域の継承者として自分たちにできることを考える。

- ・文化祭の目標は
目指せMVG!~君に届け僕らの地域愛~にしよう。
- ・地域で働く人たちの思いを伝えよう。
- ・どんな発表にしたらみんなに伝わるかな。
1・2年に何を伝える?
- ・時間が限られているから、各職場の発表時間が少ないね。
- ・3年で最後だから、いい発表にしたい。

- ・文化祭の発表について、1・2年生に伝わったかなあ。
- ・これから私たちは何をしたらいいんだろう。
- ・私たちに何かできることはないかなあ。

単元でつきたい力

- ・働くことの意義を知るとともに、働くことが自分自身や他人のためになっていること、西土佐地域の為になっていることに気付く。【知識及び技能】
- ・西土佐地域の継承者として、地域で働く人の思いや、自分たちにできることは何かを考えて課題を設定し、その解決に向けて情報を分類したり、効果を考えたりしながら適切な表現方法を組み合わせたりしている。【思考力、判断力、表現力等】
- ・課題解決に向けて、地域と仕事や地域と自分の関わりに関心を持ち、将来に向けて今後の学習を積極的に考えようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

本単元は、豊かな自然に囲まれた西土佐地域について考え、地域の継承者として自己にできることは何か考え構想した内容である。日本を代表する四万十川や周りを山に囲まれた西土佐地域では、他の地域と同じように高齢化も進んでいる。西土佐地域には、地域の特色を生かした職場もあり、生徒にも地域ならではの職業があるという認識がある。このような地域で働く人々の中には、地域を生かした生産物やその生産物を生かした食料品等を開発しようと日々探究し取り組んでいる方々もいる。

中学校3年生になると自己の進路について考え、その進路から将来の職業へとつながっていく。職場体験活動を生かして、働く人々の仕事に対する思いを聞いたり、地域ならではの職業について考えたりすることにより、これまで以上に地域のことについて考え、地域の継承者として将来のことについて深く考えることができるようになると思う。

○生徒観

本学級の生徒は、とても真面目で粘り強く取り組むことができる。話し合いでも納得するまで時間をかけて意見を出し合い進めることができる。特別活動の時間や総合的な学習の時間等にも、学級委員を中心に自分たちで会を進めることができる。2学期からは、めあてを設定し会を進めるなど、少しずつ会のレベルが上がってきている。このような本学級の生徒は、昨年2年時の総合学習「職業人に聞こう」で、西土佐地域の仕事に携わる方々から話を聞き、仕事に対する思いを知っている。本来なら関西地方への修学旅行で、西土佐地域の食品や食材を販売し、少なからず販売という仕事に対する苦労を体験するはずであった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行が3年時にずれ込み、旅行先が四国内に限定され、販売学習もなくなった。そこで、生徒たちは西土佐地域の継承者として西土佐地域と他の地域との食の違い、人々の違いを観察したりしながら西土佐地域のよさを再度確認してきたのである。また、総合的な学習の時間のオリエンテーショ

ンと堂が森登山で西土佐の良さについて改めて考え、今年度のテーマを『西土佐の伝統を知り、未来につなげる』とした。総合的な学習の時間における授業評価アンケートでは、「総合的な学習の時間は楽しい。」「取り組んでいる課題を自分事として取り組んでいる。」「自分の住んでいる地域が好きで大事にしたいと思っている。」「地域や人の役に立てるようになりたい。」等は肯定的評価100%となっている。それに対して、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある。」82.4%、「社会人になっても、自分の地域や高知県の為になる仕事がしたい。」88.2%と若干少なくなっており、地域への思いが弱い生徒がいるという実態もある。この学習を通して、地域を知り地域の継承者として、将来、西土佐地域に貢献できる人に育ててほしいと考える。

○指導観

小単元1「地域文化の伝承者になろう」では、西土佐地域の伝統文化について考える活動で、特に祭りには欠かせない「みのり太鼓」について指導して下さる今城久枝さんから太鼓への思いを聞き、生徒たちも太鼓を習うための思いをぶつけ、太鼓の継承者として文化祭で発表した。

小単元2「働いている人から学び、地域貢献や自己の生き方を考えよう」では、職場体験活動の中で、働くことの意義や苦勞を知るとともに、働いている人々の地域に対する思いやどのように地域貢献しているかなど、多くのことを知る機会となる。さらには、これからの西土佐地域の継承者として、学んだ事を後輩にも伝えていき、これから生活の中でさらに考えていく。

小単元3「自分の将来設計をしよう」では、将来のための進路決定を控え、これから自分たちにできることはないか考えながら、今まで学んできたことを自己の進路選択に生かしていく。

このように、地域の人々の思いを聞きながら、地域の継承者として今後の自己の進路ともつなげながら、様々なことに挑戦し前進していく力を身に付けていってほしい。

本時では、文化祭の学習発表を振り返り、地域の継承者としてこれから自分たちにできることはないか考え、今後の自己の生き方とのつながりもあわせて進めていきたい。そして、生活科・総合的な学習の時間の西土佐小中合同テーマである【「レッツ チャレンジ 西土佐っ子」西土佐を愛し、自分の思いを持って、行動する子の育成】に迫りたい。

3 単元の目標

西土佐地域の伝統や職業について学ぶ取組を通して、どのように西土佐地域がつながり地域の継承者として西土佐を支えるために様々なことに取り組んでいることを理解し、西土佐地域の活性化のために自分たちにできることを考えるとともに、自分の生活や行動に生かすことができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
①働くことの意義を知るとともに、働くことが自分自身や他人のためになっていること、西土佐地域のためになっていることに気付いている。 ②収集した情報を、手際よく分類し、分かりやすい方法で表している。 ③働くことの意味を考えることが、将来の職業選択や今後の生き方に関わっていることを理解している。	①働くことの意味について、働いている人たちの考えと自分たちの考えを比較し、課題を設定している。 ②地域で働く人の思いや考えに関する情報を幅広く効率的に収集している。 ③他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、表現方法を組み合わせたりしている。 ④相手や目的に応じて、自分の考え方をまとめ、適切な方法で表現している。	①課題解決に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組み、活動を振り返りながら次時に生かそうとしている。 ②地域を支える仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活について積極的に考えようとしている。

5 指導と評価の計画(全32時間 本時 31/32)

次	時	ねらい(○)と学習活動(・)	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一	1 5	○地域を支える職業について考え、情報収集を行う。 ・体験先を決定し個人目標を決める。 ・電話連絡をして事前訪問をする。		① ③	①	・発言・行動 ・ワークシート ・振り返り
二	6 17	○職場体験を通して、地域で働く人たちの思いを知る。 ・実際に働くことで、働く意義について考える。 ・体験活動を通じて、働く人の地域に対する思いを聞く。	①	②	②	・発言・行動 ・ワークシート ・振り返り
三	18 29	○地域を支える職業について、後輩に伝えよう。 ・文化祭でどのようにして伝えるか考える。 ・発表内容について具体的に検討する。 ・文化祭で、職場体験を通じて知った働く人たちの思いを伝える。	②	③ ③		・発言・行動 ・ワークシート ・振り返り
四	30 32	○これから自分たちにできることを考えよう。 ・文化祭での学習発表を振り返る。 ・地域の継承者として自分たちにできることを考える。	④		⑤	・発言・行動 ・ワークシート ・振り返り

6 本時の指導

本時の目標	地域の継承者として、自分たちの生活と関わらせながら、地域の活性化のために主体的に考えることができる。	
本時の評価規準	地域を支える仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活について積極的に考えようとしている。【態】	
準備物	ホワイトボード マーカー	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. 文化祭の学習発表を振り返る。(5分) 司会…学級委員	・伝えたいことは何だった? ・地域で働いている人たちの思いを伝えなかったけど、上手く伝わったかな。 ・伝わったかもしれないけど、伝えただけでいいのかな。	
2. 本時のめあてを確認する。(5分) ・学級委員からめあてを発表する。	・学習発表を振り返って、これからのことを考えて…	
想定めあて わたしたちができる地域貢献は何だろう??		
3. 個人・グループ協議(10分) ○司会を中心に、『自分たちにできる地域貢献』を考える。	学級委員 ・中学生の私たちでもできる地域貢献をグループで考えさせよう。	
4. 発表・共有(10分)		

<p>【想定1:地域の人たちの思いをもう一度聞いて、地域の活性化につなげる活動を考えよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化や発展の為に働いている人の話をもう一度聞いて、地域貢献のヒントを見つけよう。 <p>【想定2:伝統を残すために、後輩に太鼓を教えよう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小単元1「地域文化の伝承者になろう」の活動で学んだ西土佐地域の伝統文化「みのり太鼓」について2年生に継承しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことをしたら地域貢献になるかな。 ・地域の人たちに中学生にしてほしいことを聞いてみるのはどう。 ・体験をした職場の誰かに聞いてみるのもいいんじゃない。 ・地域の伝統をつなげるために、2年生に太鼓を教えたらいいんじゃない。 ・2年生も地域の継承者だから、今城さんの思いも伝えよう。 ・太鼓は、教えられるかな・・・ ・少しは教えられるんじゃない。 	<p>仕事と自分との関わりに関心を持ち、今後の学習や生活について積極的に考えようとしている。</p> <p>【発言、ホワイトボード、振り返り】</p>
<p>5. 協議(12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で意見を出し合い、今後、全体でしていくことを決定する。 <p>※意見が出ない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残りの中学校生活でできる地域貢献を考えてみたらどう? ・地域の人に中学生にしてもらいたいこと聞いてみたらどう? 	<p>学級委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見が複数あるけど、どれにしよう。 ・みんなの意見を聞いて決めよう。 <p>生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に話を聞いてみるのがいいんじゃない。 ・そうすれば地域貢献としてしたいことが分かるかもしれないね。 	
<p>6. 本時の振り返りをする。(5分)</p> <p>○総合ノートに振り返りを書く。</p> <p>7. 評価(学級委員・教員)(3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人話を聞いて、地域貢献を頑張ろうと思う。 ・中学を卒業しても地域を大切にしていきたいと思った。 	

7 板書計画

○ 私たちにできることを考え、地域貢献!

例 地域の人たちの思いをもう一度聞いて、地域の活性化につなげる活動を考えよう。

2班

1班

4班

3班

「地域で働く人から学び、地域貢献や自己の生き方を考えよう」

めあて

わたしたちができる地域貢献は何だろうか?

・自分たちにできること